

## 小論文1

### 第1期 出題の趣旨

#### 小論文1

特定の区画内に建物が集合すれば、周辺の自然環境等と一体化して、地域の景観を形成する。したがって、当該区画の景観の有り様に関して、相当数の住民の間に共通する嗜好が存するのであれば、それを実現して維持することに公共の利益が認められる。本問は、そうした公共の利益と個人の自由との調整について考えてもらうことを狙いとしている。さらには、特定の空間内に併存しても調和を崩さないような色彩のリストを用意し、その中から好みの色を選択してもらうというような実践的な案が出て来ることを期待している。

#### 小論文2

日本民間放送連盟が、ラジオのAM放送を廃止し、ワイドFMに転換することを可能にする制度改正を総務省に要請したことについての社説の要約と、その要請に関して、2つの対立する立場からの見解と自分の意見を記載してもらう問題である。

要約の際には、民放連はどのようにしてそのような要請をしたのか、その要請にはどのような問題があり、政府はその要請に対してどのように対応すべきと記事は述べているのかに触れることが望ましい。2つの対立する立場からの見解と、自分の意見の記載の際には、記事の内容を踏まえたうえで、説得力のある文章の展開がなされていることが望ましい。

### 第2期 出題の趣旨

#### 小論文1

人の集まる空間では、そこでの過ごし方について自ずからマナーが生まれる。それは社会の変化に応じて変わり得るものであるが、社会生活の道具が変わった場合には、それをどう利用するかについてまた難しい問題が生じる。その道具の便益を享受したい人が多いと予想されるが、その空間への思い入れが強い人にとっては、従来 of 雰囲気破壊する行為は慎んでもらいたいであろう。では、喫茶店での携帯電話の利用は、従来 of 雰囲気破壊する行為なのかどうか。音量だけに着目すれば、同伴者との会話と同種の行為である。しかし、同伴者との会話が人間として自然な行為であるのに対し、携帯電話で話すことは、店内に持ち込もうと思わなければ持ち込まずに済む会話を敢えて持ち込む行為である。そのことをおよそ意に介さず専ら音量の問題と捉える人もいるだろうし、空間の特性次第だと考える人もいるだろう。ともかくも、そこに論点が存在することに気づいてほしい。

### 第3期 出題の趣旨

#### 小論文1

都市公園の運営に関しては、しばしば利用重視の意見と生態系重視の意見が衝突する。妥協策としては、たとえば、公園区域の中央部に家族が楽しめるような空間を設け、その周辺に昔から維持されてきた雑木林を残し、散策路を付けるというような案が考えられる。このような妥協策を案出する能力があるかどうかを確認するのが、本問の狙いである。もちろん、妥協策に賛同できるかどうかは立場によって異なるはずで、それはそれとして考えを記せばよい。散策路の直線化については、一つには、見通しをよくすることによって痴漢等の犯罪を抑止する狙いがある。しかし、反面で、「この先はどうなっているのだろう」というワクワク感は失われる。また、湾曲部がもっていた多様性を奪い、生物の生息空間を均質化するおそれがある。

#### 小論文2

問1 地球温暖化により、洪水や干ばつなど、土地の劣化が起きており、トウモロコシや小麦の収穫量が減る地域も現れている。他方で、食糧確保のために農地を無秩序に拡大すれば、温室効果ガスの排出を増やしてしまう。

問2 植林や森林の再生に努めつつ農作物を確保する、という二兎（にと）を追う工夫が欠かせない。たとえば、食べられるのに捨てられる「食品ロス」を減らしたり、肉から野菜に食生活の比重を移したりして食糧や飼料の生産を抑える。空いた土地を植林やバイオ燃料の生産に当て、CO<sub>2</sub>を減らす。

### 第4期 出題の趣旨

#### 小論文1

本問題は、現代の社会で増加している防犯のための監視カメラの設置の是非に関わる見解を問う問題である。

問1は、2名の学生の会話を参考にしつつ、防犯のための監視カメラを設置することについての問題点またはその弊害（複数）についての指摘を問うものである。上記会話の内容の正確な読解力も同時に問われている。

問2は、問1で指摘された問題点または弊害を踏まえて、大都市において、今後、防犯のための監視カメラを増設することについての見解を問うものである。増設することの利益、不利益を比較し、何らかの説得的な見解を提示することが求められる。

## 第5期 出題の趣旨

### 小論文1

[問1] 自動運転については、昨今、さまざまなメディアで報道され紹介されているところである。自動運転には、単なる利便性のみならず、いろいろなメリットがあるといわれている。例えば、交通事故削減、渋滞解消、燃費の向上（環境負荷の軽減）、高齢者支援等々である。設問に対しては、これらのいくつかのメリットを具体的に挙げて、その肯定的な面を記述することが求められる。

[問2] 自動運転を現在の社会に一部導入するに当たり、掲記した会話のように問題点が指摘されている。設問に対しては、指摘されている問題点を正確に読み取り、これを踏まえて解答者個人の見解を説得的に述べることが求められる。

### 小論文2

問1 「自力」へのこだわりが迅速な復旧の妨げになったと東電は振り返っている。政府は電力各社に「災害時連携計画」をつくるよう求める方針だ。そうすれば、自力にこだわってきた意識も改革される。

問2 経済産業省がまとめた電力供給の強靱化策は、鉄塔の倒壊対策として、風に対する強度基準を、地域や地形に応じてきめ細かく引き上げるというもの。この策を記事は、電力会社の自主対応でもなく、全国一律でもない仕組みであり、費用対効果の面でもうなずけるとし、経産省は早急に制度を具体化し、電力会社は必要な補強工事を進めてほしいとしている。

問3 復旧が長引いた大きな要因は約2千本の電柱の倒壊であるとし、手入れが行き届いていない山間部の樹木など、できる対策から取り組むべきとしている。強風で倒れて電線にひっかかる可能性が高そうなら、事前伐採を検討すべきとし、また、電力会社は自治体との連携を深め、樹木の所有者との協議をスムーズに進めたり、災害時の役割分担を定めたりしておくべきとする。